



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月9日

上場会社名 日本電子材料株式会社

上場取引所 東

コード番号 6855 URL <https://www.jem-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 和正

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理部門統括部長 (氏名) 足立 安孝

TEL 06-6482-2007

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

2021年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	11,226	37.1	3,011	146.9	3,044	164.5	2,145	150.4
2021年3月期第2四半期	8,190	20.1	1,219	164.3	1,150	177.1	856	128.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,305百万円 (182.0%) 2021年3月期第2四半期 817百万円 (178.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	178.68	178.12
2021年3月期第2四半期	80.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	29,610	19,141	64.6
2021年3月期	25,578	15,411	60.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 19,139百万円 2021年3月期 15,408百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		7.00		8.00	15.00
2022年3月期		20.00			
2022年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,126	14.1	4,211	58.1	4,244	64.8	3,045	49.4	253.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	12,075,480 株	2021年3月期	11,304,880 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	15,680 株	2021年3月期	15,649 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	12,010,271 株	2021年3月期2Q	10,589,318 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部には持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症や、半導体の不足による生産への影響により、回復は遅れる傾向で推移いたしました。海外経済につきましても、厳しい状況にあるものの、アメリカを中心に改善傾向となりました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、データセンター向けを中心に堅調に推移いたしました。また、IoT、AIの活用の進展や5Gの普及に加え、自動車向けをはじめとした半導体不足の解消に向けて、生産体制の強化も進められました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、メモリーIC向け製品を中心に、国内向けに加え海外向けにつきまして、一時的な需要の伸びにより、前年同四半期を上回る結果となりました。利益面につきましても、売上高の増加及び工場稼働率が一段と向上したこと等により、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は11,226百万円（前年同四半期比37.1%増）、営業利益は3,011百万円（前年同四半期比146.9%増）、経常利益は3,044百万円（前年同四半期比164.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、2,145百万円（前年同四半期比150.4%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等の適用による影響はありません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,031百万円増加し、29,610百万円となりました。

これは主として、預け金が100百万円減少いたしましたが、受取手形及び売掛金が2,022百万円、電子記録債権が831百万円、現金及び預金が619百万円、仕掛品が240百万円、製品が207百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ301百万円増加し、10,469百万円となりました。

これは主として、長期借入金が526百万円、1年内返済予定の長期借入金が112百万円、支払手形及び買掛金が40百万円減少しましたが、未払法人税等が681百万円、賞与引当金が358百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,730百万円増加し、19,141百万円となりました。

これは主として、利益剰余金が2,055百万円、資本金が758百万円、資本剰余金が758百万円、為替換算調整勘定が159百万円増加したこと等によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、485百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には6,674百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、133百万円（前年同四半期は251百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、売上債権の増加額2,702百万円、棚卸資産の増加額573百万円、法人税等の支払額336百万円等による減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益3,044百万円、減価償却費493百万円、賞与引当金の増加額358百万円等による増加要因があったことによります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、445百万円（前年同四半期は1,036百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、定期預金の払戻による収入369百万円等による増加要因があったものの、有形固定資産の取得

による支出476百万円、定期預金の預入による支出371百万円等による減少要因があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、742百万円(前年同四半期比44.3%減)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出639百万円、配当金の支払額89百万円、リース債務の返済による支出31百万円等による減少要因があったものの、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,503百万円による増加要因があったことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日(2021年11月9日)「2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び2022年3月期通期連結業績予想の修正、並びに剰余金の配当の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたのでご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,518	7,138
受取手形及び売掛金	7,704	9,727
電子記録債権	328	1,160
有価証券	142	145
製品	440	648
仕掛品	1,150	1,391
原材料及び貯蔵品	1,467	1,644
預け金	146	46
その他	292	382
貸倒引当金	△9	△11
流動資産合計	18,181	22,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,520	2,466
機械装置及び運搬具（純額）	2,706	2,712
建設仮勘定	287	210
その他（純額）	1,007	1,022
有形固定資産合計	6,521	6,411
無形固定資産	195	203
投資その他の資産		
その他	681	723
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	680	722
固定資産合計	7,397	7,337
資産合計	25,578	29,610
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,210	1,169
電子記録債務	929	1,123
設備電子記録債務	94	73
1年内返済予定の長期借入金	1,264	1,151
賞与引当金	77	436
未払法人税等	321	1,002
その他	950	732
流動負債合計	4,848	5,688
固定負債		
長期借入金	5,193	4,667
その他	125	113
固定負債合計	5,319	4,780
負債合計	10,167	10,469

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,721	2,479
資本剰余金	1,941	2,699
利益剰余金	11,929	13,985
自己株式	△15	△15
株主資本合計	15,577	19,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	2
為替換算調整勘定	△170	△11
その他の包括利益累計額合計	△168	△9
新株予約権	3	1
純資産合計	15,411	19,141
負債純資産合計	25,578	29,610

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	8,190	11,226
売上原価	5,016	6,323
売上総利益	3,173	4,902
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	425	475
賞与引当金繰入額	14	50
退職給付費用	9	8
研究開発費	766	714
その他	739	642
販売費及び一般管理費合計	1,954	1,891
営業利益	1,219	3,011
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	2	17
為替差益	—	22
材料屑売却益	8	4
その他	9	13
営業外収益合計	27	62
営業外費用		
支払利息	12	15
為替差損	81	—
新株発行費	—	10
その他	2	2
営業外費用合計	96	28
経常利益	1,150	3,044
税金等調整前四半期純利益	1,150	3,044
法人税、住民税及び事業税	224	1,029
法人税等調整額	69	△130
法人税等合計	294	898
四半期純利益	856	2,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	856	2,145



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	856	2,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△39	159
その他の包括利益合計	△39	159
四半期包括利益	817	2,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	817	2,305

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,150	3,044
減価償却費	445	493
賞与引当金の増減額(△は減少)	93	358
売上債権の増減額(△は増加)	△1,456	△2,702
棚卸資産の増減額(△は増加)	32	△573
仕入債務の増減額(△は減少)	△344	37
その他	△137	△198
小計	△216	460
利息及び配当金の受取額	7	24
利息の支払額	△13	△15
法人税等の支払額	△29	△336
営業活動によるキャッシュ・フロー	△251	133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△979	△476
定期預金の預入による支出	△383	△371
定期預金の払戻による収入	363	369
その他	△35	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,036	△445
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,100	—
長期借入金の返済による支出	△651	△639
リース債務の返済による支出	△31	△31
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,503
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△84	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,332	742
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20	485
現金及び現金同等物の期首残高	3,335	6,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,356	6,674

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、行使価額修正条項及び行使許可条項付新株予約権の行使による払込みを受けたことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ758百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,479百万円、資本剰余金が2,699百万円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。